

令和2年度 学校自己評価アンケートのまとめ

千曲市立更級小学校

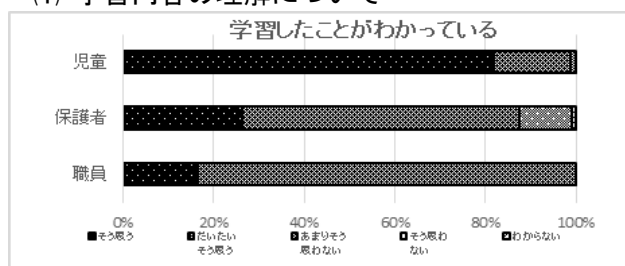
平素より本校の教育にご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。

本年度実施させていただいた学校自己評価アンケートのまとめをいたしました。本年度の成果と課題を明確にし、来年度の指導につなげてまいりたいと考えております。

ご覧いただき、一層のご支援をよろしくお願いいたします。

1 学習の取り組みについて

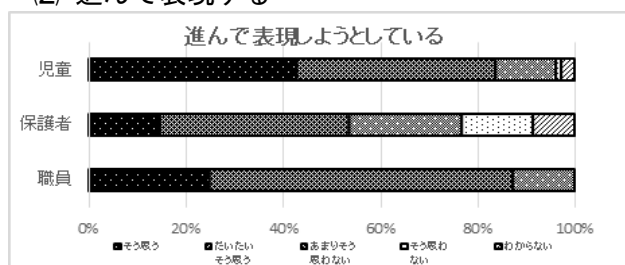
(1) 学習内容の理解について



児童、保護者、職員の80%以上が、「学習したことがわかっている」と回答しています。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休校期間や三密を避けるなど、児童の学習活動に制約がありましたが、「学習課題を明確にする」「一人一人に合わせた支援をする」ことなどを中心に授業の改善や充実に取り組みました。授業と家庭学習のつながりを大切にし、授業で理解が不十分な内容の確認や振り返り等を家庭学習で補い、学習内容の定着をはかってきました。

一方、「学習したことが分かっていない」と回答される保護者の方もいます。学校では、今後も、全国学力・学習状況調査やNRT、単元テストなどの結果の分析、日頃の授業の姿から、「読む、書く、話す、聞く」などの学習活動に効果的に取り組めるよう工夫し、児童の基礎的・基本的な内容が確実に身につくように、児童一人一人の実態をつかみ、進度を工夫し、授業改善に取り組んでまいります。

(2) 進んで表現する

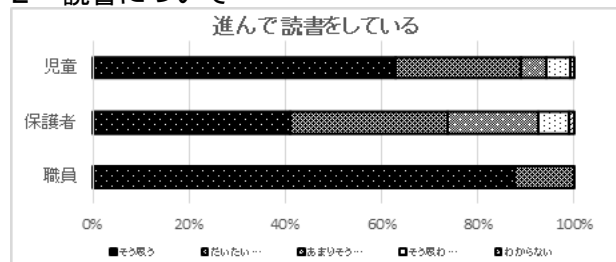


児童、職員の80%以上が「進んで表現しようとしている」と回答したのに対し、保護者の回答は60%に届きません。これは、児童と職員は「自分の考えを書いたり話したりする」という問いで

あったのに対し、保護者は「発言」の様子を問うていました。授業では、友と話し合う時間を、集会活動において児童の発言の時間を設け、自分の考えを表現する場を作ってきました。

これからの時代、様々な表現の場や方法で自分の考えを表現する機会が増えていきます。話すことに限らず、書くことによって表現することも大切です。今後も、話す活動、書く活動を充実させ、自分の考えを表現できる力をつける指導を継続してまいります。

2 読書について



	貸出総数	一人当たりの冊数
令和2年度	43,211	271
令和元年度	42,550	271
平成30年度	30,617	193

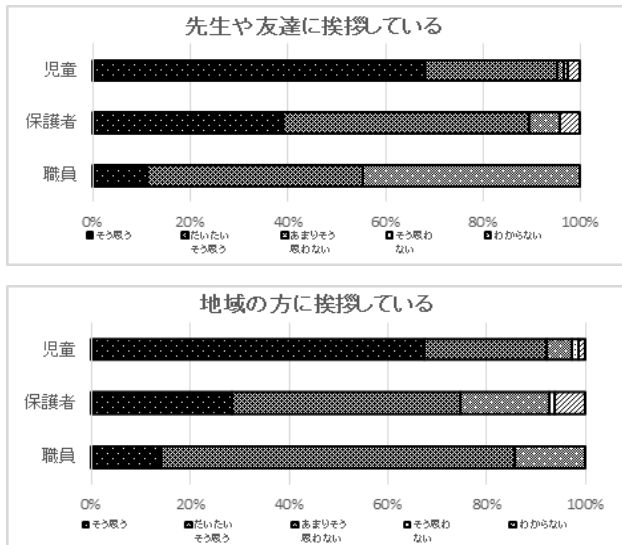
今年度は、休校期間や、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から図書館を利用する時間を学年ごとに分散して限定しましたが、貸出冊数は昨年度より増加しました。毎日、図書袋を持って嬉しそうに図書館に行き、戻るとすぐ教室で借りてきた本を開く児童の姿には、読書に親しみ楽しんでいる様子がうかがえます。

児童・職員の80%以上が「学校や家で」「進んで読書をしている」と回答しているのに対し、保護者は「家で」読書に取り組む様子は、割合が低くなっています。

学校では、朝読書や授業時間内の図書館利用などを通して、児童が読書する時間を設けています。また、図書袋を毎日持ち帰ることを促し、家庭学習に読書を取り入れたり、毎月の親子読書デイを設けたりして、家庭での読書も勧めてきました。

保護者の皆様も、ご家庭で読書をする時間を設けていただき、親子読書にご協力いただくようお願いいたします。

3 あいさつ

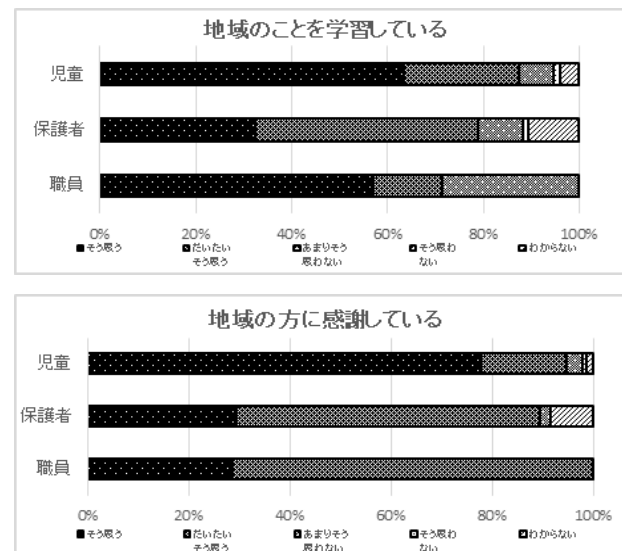


あいさつについては、児童90%以上ができていますと回答していますが、保護者の回答では、先生や友達へのあいさつが出来ていると考える方が多くいますが、地域の方へのあいさつは若干割合が下がり、職員の回答はその逆になっています。

児童会を中心に「あいさつ運動」を進め、気持ちの良いあいさつ、自分から先に声を出すあいさつを進めています。あいさつは、コミュニケーションの基本であり、相手の存在を認識し、尊重する意識にもつながります。

学校では、引き続きあいさつの大切さや、あいさつのし方について指導を進めます。ご家庭でもお子さんとあいさつの大切さについてお話いただくようお願いいたします。

4 地域との関わりについて

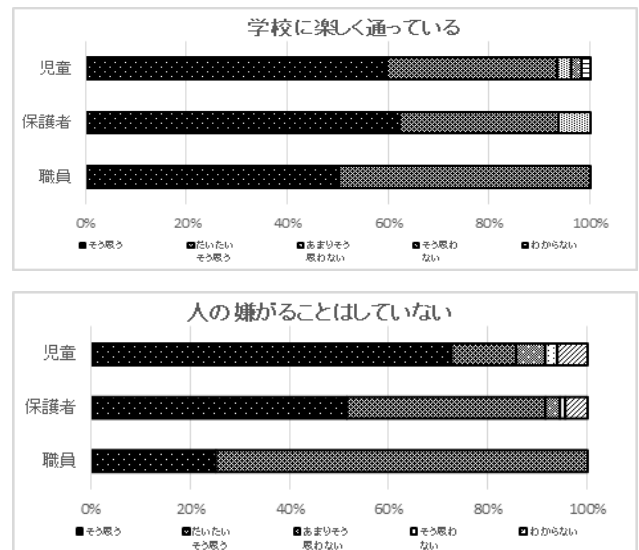


児童・保護者の90%以上が、「地域のことを学習している」「地域の方に感謝している」と回答しています。本校の児童は、安全パトロールの皆さんをはじめ地域の多くの皆様に支えられています。また、学校では「ふるさと更級」に関わる学習を取り入れ、生まれ育った故郷に対する理解を深め、

愛する心を育てるよう努めています。

今後も、地域の皆様を目で児童を見守り、育てていただきますようお願いいたします。

5 人権意識について



児童・保護者・職員の90%以上が、「学校に楽しく通っている」「人の嫌がることはしていない」と回答しています。一方、「学校へ楽しく来られていない」「人の嫌がることをしてしまった」と回答している児童も少数います。

児童が安心して生活できる学校は、児童の人間関係の安定や学力の向上にも関わります。楽しく登校できていないと感じる少数の児童の思いを大切にこみ取り、すべての児童にとって居場所のある学校づくりに、さらに努めてまいります。

また、「人の嫌がることをしたことがある」と回答している児童がいることも重く受け止め、そうした児童が抱えている思いに触れながら、様子を見守るとともに、児童の気になる言動を素早く捉え、ご家庭とも連携しながら、継続して指導してまいります。

6 保護者の皆様からのご意見

○少ない行事の中、子供達ががんばっている姿をみる事ができてうれしかったです。

○今年の運動会は新型コロナウイルスの中、開催されて、種目は少なくなりましたが、一つずつ工夫されていて、とても楽しく見る事ができました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を大切に受け止め、職員で共有し、指導すべき内容については適切に指導しながら、今後に生かして参ります。

これからも、児童が来たいと思える学校づくりを目指し、また、学力を高め、健やかに成長し、ふるさと更級を一層愛する児童を育てるために、指導を重ねて参ります。

今後も、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。